



取組方針1 担い手の確保

検討会議・担い手確保・生産性向上小委員会・建設業団体の主な意見

検討会議:検討
担い手確保小委員会:担い手
生産性向上小委員会:生産性
建設業団体:業団体

- 学校訪問は、**近年の入職状況をふまえた優先度により訪問校を選定**すること、企業PR一覧表を作成し、学校訪問などで情報発信を行うことは必要である。(担い手・業団体)【取組方針①】
- 建設業は転職者が多いため、建設系学科以外にもアプローチする必要がある。(検討)【取組方針①】
- 地元への就職率の高い高校も対象とするなど間口を広げた方がよい。(検討)【取組方針①】
- 進学校についても、大卒就業者を見込んで、高校での「探求授業」の課題提供など、高校のニーズをつかんで取組を継続した方がよい。(検討)【取組方針①】
- 企業向けのセミナーは、時間や場所に制限されないオンラインや動画視聴などを用いたほうが良い。(担い手)
- 出前授業等では、**年代が近い若手就業者**がいることで生徒は自身が働くイメージができる。(担い手)【取組方針②】
- **若年層や保護者世代に建設業の魅力を伝えるためにイベントを開催**することは有効な取組である。(担い手・業団体)【取組方針③】



取組方針2 労働環境の改善

検討会議・担い手確保・生産性向上小委員会・建設業団体の主な意見

検討会議: 検討
担い手確保小委員会: 担い手
生産性向上小委員会: 生産性
建設業団体: 業団体

- 週休2日(土日休み)の取組は担い手確保のためには、継続していく必要がある。(検討・担い手)【取組方針①】
- **バックオフィス業務を対象とした新たな人材の雇用は企業の負担**であり、普及が進まない要因の一つとなっている。(業団体)【取組方針②】
- バックオフィスの担い手育成は女性活躍につながる。また社外での講習会等の実施は企業の負担軽減にもなる。(検討)【取組方針②】
- バックオフィスを知らずに敬遠している企業への理解促進が必要である。(検討)【取組方針②】
- 柔軟な働き方として、就業者がフルタイムや短時間などを選択できることが、企業としてPRできるポイントとなる。(検討・担い手)
- CCUSでは、建退協との連携などの改善が進められているが、**多くの企業が活用方法などを理解していないため、企業への普及が進まない**。(担い手・生産性)【取組方針③】

取組方針3 生産性の向上

検討会議・担い手確保・生産性向上小委員会・建設業団体の主な意見

検討会議:検討
担い手確保小委員会:担い手
生産性向上小委員会:生産性
建設業団体:業団体

- 建設DX促進説明会は、**技術者以外のバックオフィス人材なども対象**としていく必要がある。(生産性)【取組方針①】
- 建設DXは企業によって、習熟度に温度差があるため、取組を継続する必要がある。(検討)【取組方針①】
- 講習会では受講対象者のニーズを取り入れブラッシュアップしていく必要がある。(検討)【取組方針②】
- 現場での生産性を向上させるためには、**技術者自身がICT技術を習得することが重要**である。(生産性)【取組方針②】
- ライブカメラの利用など、**施工現場の安全管理に関する事例集**があるとよい。(担い手)【取組方針③】
- 発展が著しいAI技術について、リスクと効果を見極めながら適正な活用を検討していく必要がある。(検討)

企業の安定経営に向けた対応

検討会議・担い手確保・生産性向上小委員会・建設業団体の主な意見

検討会議:検討
担い手確保小委員会:担い手
生産性向上小委員会:生産性
建設業団体:業団体

- 最低制限価格の設定が低い市町があること**が、経常利益率に少なからず影響を与えている。(業団体)【取組方針②】
- 企業体力の向上により労働者の処遇改善につなげるため、地域内での企業間連携(アライアンス)の推進についても検討したほうがよい。(検討)